

# 日本比較政治学会 ニュースレター

Japan Association for Comparative Politics

No. 53 October 2024

- 
- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. 2024年度総会報告 | 3. 企画委員会からのお知らせ |
| 2. 理事会報告      | 4. 事務局からのお知らせ   |
- 

## 2024年度総会報告

2024年6月23日（日）13時20分より、立命館大学大阪いばらきキャンパス・B棟1Fカンファレンスホールにおいて開催された。

### 【開会宣言】

杉木常務理事より、2024年度総会の開会が宣言され、総会出席者は事前のオンライン調査によると、出席者が45名であることが報告された。続いて、議長の選任が行われ、杉木常務理事より山尾理事が推薦され、承認された。

### 【会長挨拶】

粕谷会長より、2年間の学会運営への協力に対して関係各位に謝意が述べられたうえで、会長就任時に掲げた「3つのK（事務局効率化、会員サービス向上、国際化）」の総括がなされた。まず、事務局の効率化については、事務業務委託の拡大によって事務局の負担を軽減することができたとした。また、会員サービスの向上についても研究大会の隔年オンライン化を実現するとともに、若手の会員向けに他の学会への参加補助制度を構築することができたとした。その一方で、国際化について

は、学会ウェブサイトにも自動翻訳ソフトを導入することを考えたものの、諸問題により実現できなかったが、それぞれの会員が国際舞台で活躍され、学会の国際化は進んでいるとした。

### 議題

#### 1. 各種委員会報告

##### （1）企画委員会

外山企画委員長より、研究大会のプログラムについて説明があり、本年度は自由論題への応募が22件と多く、自由論題だけで7つのパネルが組まれていることが報告された。

##### （2）年報編集委員会

杉木常務理事より、近藤年報編集委員長からのメッセージが代読され、年報26号の編集状況について説明があり、全体の構成として、共通論題の論文3本と公募論文6本の計9本の論文が収録されることになっており、5月初めに全ての原稿を入稿し、6月中には初校があがる見込みであることが報告された。

(3) オンラインジャーナル編集委員会  
杉浦オンラインジャーナル編集委員長より、2022年からの2年間の任期のうち、掲載に至った論文が1本に留まり、投稿件数も伸び悩んでいることが報告された。

(4) 渉外委員会  
杉木常務理事より、粒良渉外委員長からのメッセージが代読され、2023年度と2024年度も例年同様に学会ウェブサイトの更新作業を行い、これまでに①第27回研究大会のプログラム、案内・要旨集、報告ペーパー、②第51号及び第52号ニューズレター、③本学会に関する各種お知らせをウェブサイトに掲載したことが報告された。

(5) ニューズレター委員会  
杉木常務理事より、馬場ニューズレター委員長からのメッセージが代読され、2023年度は第51号と第52号のニューズレターが刊行され、学会ウェブサイトに掲載されたことが報告され、関係各位に謝意が示された。

(6) 研究大会開催校  
官協開催校理事より、2日目の昼に実施した懇親会に87名の参加があり、大会全体では約200名の参加が見込まれることが報告された。

## 2. 事務局報告

杉木常務理事より、現在の会員数について、2024年6月18日時点の会員数は598名であり、前回の総会において報告された612名より減少していることが報告された。

## 3. 2023年度決算

杉木常務理事より、決算報告があり、2023年度の収入と支出の内訳について、それぞれ説明がなされた。続いて、川中監事より、2023年度会計監査報告として、2024年4月13日に中田監事とともにオンライン上で総勘定元帳や銀行口座の残高報告書などを確認し、会計が適切に処理されていることが確認されたとの報告があり、2023年度決算は承認された。

## 4. 2024年度予算

杉木常務理事より、2024年度の収入と支出の見積りがそれぞれ説明され、同年度予算は承認された。

## 5. 監事承認

粕谷会長より、中田監事の任期満了に伴い、新たな監事として東海大学の辻由希会員が推薦され、承認された。

## 6. 新理事会承認

粕谷会長より、新たな理事会の構成メンバーが示され、承認された。

## 7. 次期会長・副会長承認

粕谷会長より、新たな会長として大阪公立大学の稗田健志会員、新たな副会長として立命館大学の末近浩太会員がそれぞれあげられ、承認された。

## 8. 次期会長挨拶

稗田会長より、会長就任の挨拶があり、今後の学会運営の基本的な方針として、「持続可能な学会運営の推進」が示された。そのためには、大学教員の業務が増えている状況も鑑みて、ひとりひとりが学会に貢献するとともに

に、そこから利益を受けられるようにする必要があるとされた。役職に就いた会員がその他の会員にサービスを提供するというのではなく、自治組織として各会員が役割を果たし、全体としての学会運営の負担を縮減していくという方向性で進めていくとのことであった。

#### 9. 常務理事承認・各種委員長および運営委員紹介

稗田会長より、新たな常務理事として早稲田大学の久保慶一会員が推薦され、承認された。また、稗田会長より、企画委員長に東京大学の中井遼会員、年報編集委員長に筑波大学の外山文子会員、渉外委員長に青山学院大学の林載桓会員、ニューズレター委員長に法政大学の油本真理会員、オンラインジャーナル編集委員長に東京大学の東島雅昌会員、新設のオンライン研究大会運営委員長に東洋大学の鷺田任邦会員、選挙管理委員長に東京大

学の平松彩子会員、運営委員に東京都立大学の稲田奏会員がそれぞれ選出されたことが報告された。

10. 2025年度研究大会の日程について  
粕谷前会長より、来年度の研究大会について、2025年6月28日（土）・29日（日）にオンラインで開催することが報告された。

11. 2026年度研究大会の開催校について  
粕谷前会長より、2026年度研究大会について、日本大学において対面で開催することが報告された。

#### 【閉会宣言】

杉木前常務理事より、2024年度総会の閉会が宣言された。13時50分終了。

以上  
(事務局)

## 2023年度 決算案

自2023年 4月 1日  
至2024年 3月31日

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
繰越金	¥ 16,844,931	大会開催費	¥ 585,166
2022年度会費収入	¥ 4,607,000	年報発行費	¥ 1,677,870
雑収入	¥ 21	オンラインジャーナル編集委員会費	¥ 20,000
		年報編集委員会費	¥ 20,000
		企画委員会費	¥ 20,000
		理事会会議費	¥ 69,859
		ホームページ維持費	¥ 7,731
		事務局費	
		通信運搬費	¥ 1,100
		雑費	¥ 9,000
		選挙管理費	¥ 253,000
		事務委託関係費	¥ 2,125,767
		通信運搬費	¥ 6,230
		クレジットカード使用手数料	¥ 107,110
		振込等手数料	¥ 5,153
		繰越金	¥ 16,543,966
<b>合計</b>	<b>¥ 21,451,952</b>	<b>合計</b>	<b>¥ 21,451,952</b>

一般会計資産	
	金額
郵便振替口座	15,436,967
通常郵便貯金	1,062,039
現金	44,960
<b>合計</b>	<b>16,543,966</b>

会計監査の結果、上記の収支計算書は適正に表示されていることを認める。

2024年 4月 13日

日本比較政治学会監事

中田 瑞穂

川中 豪

## 2024年度予算案

自2024年 4月 1日  
至2025年 3月31日

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
繰越金	¥ 16,543,966	2024年度研究大会開催費	¥ 600,000
2023年度会費収入	¥ 4,600,000	年報発行費	¥ 1,700,000
雑収入	¥ 20	オンラインジャーナル編集委員会費	¥ 20,000
		年報編集委員会費	¥ 20,000
		企画委員会費	¥ 20,000
		理事会会議費	¥ 70,000
		ホームページ維持費	¥ 10,000
		事務局費	
		通信運搬費	¥ 5,000
		雑費	¥ 10,000
		事務委託関係費	¥ 2,000,000
		通信運搬費	¥ 10,000
		クレジットカード手数料	¥ 100,000
		振込等手数料	¥ 5,000
		奨励賞関連費用	¥ 35,000
		繰越金	¥ 16,538,986
合計	¥ 21,143,986	合計	¥ 21,143,986

## 理事会報告

### 第86回理事会議事録

日時：2024年4月20日(土) 14:00～15:30

形式：Zoomによるオンライン開催

出席者：粕谷祐子、稗田健志、久保慶一、小松志朗、近藤康史、杉浦功一、杉本竜也、立石洋子、辻由希、外山文子、中井遼、西岡晋、馬場香織、東島雅昌、ヒジノ・ケン・ビクターレオナード、平松彩子、牧野久美子、三浦まり、宮脇昇、山尾大

委任状：板橋拓己、伊藤武、林載桓、粒良麻知子

オブザーバー：松浦淳介

#### 【審議事項】

##### 1. 2023年度決算について

粕谷会長より、2023年度決算案について説明が行われたのに続き、中田監事から監査報告があり、同決算案は原案通り承認された。

##### 2. 2024年度予算について

粕谷会長より、2024年度予算案について説明があり、同予算案は原案通り承認された。

##### 3. 会員の入退会について

粕谷会長より、11名の入会申込者と18名の退会希望者が示され、いずれも承認された。

##### 4. 2024年度研究大会企画委員企画の一部変更について

外山企画委員長より、分科会における報告者の変更について説明があり、承認された。

##### 5. 2024年度研究大会のプログラムについて

外山企画委員会より、2024年度研究大会のプログラム案について説明があり、承認された。

##### 6. 日本比較政治学会奨励賞について

稗田奨励賞選考委員長より、2024年度奨励賞の受賞作として井関竜也会員の「テクノクラート財務大臣と経済投票—専門家による政策決定はアカウンタビリティを阻害するか」(『比較政治研究』9巻、2023年)が選ばれたことが報告され、承認された。

##### 7. 年次大会開催の隔年オンライン化に伴う会員サービス検討ワーキンググループ答申について

粕谷会長より、前回の理事会からの継続審議案件である学会参加費助成制度について、応募期間を前年の研究大会終了後からオンライン大会開催年の3月末までとすること、本助成に採択された後に報告予定論文が採用されなかった場合は助成対象者から除外すること、討論者として本助成に応募する場合でも報告者というカテゴリーで応募すること、助成対象者は大会参加後、2週間以内に報告書と領収書を併せて提出すること、対面開催の年の参加費助成に関して、1人当たり2万円を3万円に増額すること、今後、本助成の運用状況を踏まえて随時、制度の見直しを行うことが提案され、いずれも承認された。

##### 8. 監査監事の任命について

粕谷会長より、次期監査監事として辻理事が推薦され、承認された。

#### 9. 監査報告書作成のデジタル化について

粕谷会長より、コロナ禍以降、オンライン上で会計監査を実施している現状を踏まえ、来年度より監査報告書の作成をデジタル化する方針が示され、了承された。

#### 【報告事項】

##### 1. 会員の異動について

粕谷会長より、前回の理事会において入会を認められた後に会費を納入して入会手続きを終えた者が6名、2023年度末で会費3年滞納によって自動退会となった者が10名であり、本年4月18日時点における会員数は604名（正会員567名、院生会員34名、海外正会員3名）であることが報告された。

##### 2. 2024年度総会・研究大会について

開催校の宮脇理事より、今年度研究大会のスケジュールや準備状況などが報告された。

##### 3. ニューズレター刊行について

馬場ニューズレター委員長より、本年3月に第52号が刊行され、学会ウェブサイト上で公開していることが報告され、関係各位に謝意が示された。

##### 4. 年報第26号の編集状況について

近藤年報編集委員長より、年報第25号について、投稿論文が6本、共通論題の論文が3本の構成になることが確定し、本年5月には入稿の予定であることが報告された。

##### 5. ホームページ等活動状況について

粕谷会長より、粒良渉外委員長のメッセー

ジが代読され、学会ウェブサイトのレンタルサーバー利用料について、本年2月に年間利用料（税込）が5238円から6600円に改定されたことが報告された。

##### 6. 『比較政治研究』の編集状況について

杉浦オンラインジャーナル編集委員長より、今年度は投稿が1本に留まっていることが報告された。

##### 7. 2024年度理事選挙について

粕谷会長より、板橋選挙管理委員長のメッセージが代読され、2024年度理事選挙について、投票率が18.3%であり、開票の結果、18名の当選者が決定したことが報告され、関係各位に謝意が示された。

##### 8. 2026年度総会・研究大会の開催校について

2026年度開催校の杉本理事より、2026年度研究大会の会場について、当初の予定に変更が生じたことが報告された。

#### その他

##### 1. 次回理事会の日程について

粕谷会長より、次回理事会について、6月22日（土）の12時から立命館大学大阪いばらきキャンパスにて対面とオンラインのハイブリッド形式で開催することが提案され、承認された。

以上

#### 第87回理事会議事録

日時：2024年6月22日（土）12：00～12：20

形式：対面とZoomによるハイブリッド開催

出席者：粕谷祐子、稗田健志、杉木明子、板橋拓己、伊藤武、林載桓、久保慶一、小松志朗、近藤康史、杉浦功一、杉本竜也、立石洋子、辻由希、外山文子、中井遼、西岡晋、東島雅昌、ヒジノ・ケン・ビクターレオナード、平松彩子、牧野久美子、宮脇昇、山尾大  
委任状：粒良麻知子、馬場香織、三浦まり  
オブザーバー：松浦淳介

### 【報告事項】

#### 1. 研究大会について

宮脇開催校理事より、研究大会の開催にあたり、関係各位に謝意が示されたうえで、2日間で約200名の参加が見込まれていることが報告された。

#### 2. 会員の異動について

杉木常務理事より、前回の理事会において入会が認められ、入会手続きを終えた者が10名おり、これによって2024年6月18日時点の会員数は598名となり、その内訳は正会員が560名、院生会員が35名、海外正会員が3名であることが報告された。

#### 3. 総会式次第について

外山企画委員長より、研究大会のプログラムについて説明があり、本年度は自由論題への応募が22件と多く、自由論題だけで7つのパネルが組まれていることが報告された。

近藤年報編集委員長より、年報26号の編集状況について説明があり、全体の構成として、共通論題の論文3本と公募論文6本の計9本の論文が収録されることになっており、5月初めに全ての原稿を入稿し、6月中には初校があがる見込みであることが報告された。

杉浦オンラインジャーナル編集委員長より、2022年からの2年間の任期のうち、掲載に至った論文が1本に留まり、投稿件数も伸び悩んでいることが報告された。

杉木常務理事より、粒良渉外委員長からのメッセージが代読され、2023年度と2024年度も例年同様に学会ウェブサイトの更新作業を行い、これまでに①第27回研究大会のプログラム、案内・要旨集、報告ペーパー、②第51号及び第52号ニューズレター、③本学会に関する各種お知らせをウェブサイトに掲載したことが報告された。

杉木常務理事より、馬場ニューズレター委員会からのメッセージが代読され、2023年度は第51号と第52号のニューズレターが刊行され、学会ウェブサイトに掲載されたことが報告され、関係各位に謝意が示された。

#### 4. 次期理事会について

稗田副会長より、次期理事会の構成案が示された。

### 【審議事項】

#### 1. 新入会員の承認

杉木常務理事より、5名の入会申込者が示され、いずれも承認された。

その他

#### 1. 来年度研究大会の日程について

粕谷会長より、来年度の研究大会について、2025年6月28日（土）・29日（日）にオンラインで開催することが提案され、承認された。

以上

(事務局)

## 企画委員会からのお知らせ①

2025年度研究大会（オンライン<sup>[東洋大学ホスト]</sup>、6月28日（土）・29日（日）予定）

\*開催場所および日程は2023年10月時点での予定です。今後変更もあり得ますのでご注意ください。

### 「自由企画」および「自由論題」の募集

#### 1 「自由企画」の募集

自由企画は、報告・討論・司会をパッケージにしてご提案頂くものです。さまざまな共同研究の発表の場として、また自由な研究交流の場として、自由企画のご応募をお待ちしております。学会のますますの活性化のため、会員の皆様で企画をご相談の上、パネルとしてご応募ください。

#### 2 「自由論題」の募集

自由論題は、単独でご報告される会員のための発表の場です。若手会員の方はもちろん、中堅以上の会員にもご応募いただけることを期待しております。先端的研究や独創的研究をはじめとする、魅力ある自由論題のご応募をお待ちしております。

#### 3 応募資格

自由論題の報告者および自由企画の報告者・討論者・司会者は会員に限ります。ただし、入会申込書を事務委託先に提出した非会員は、会員資格が発生する前でも応募することができます。非会員を含む応募については、入会申込書を事務委託先に提出済みであることを明記してください。

※ 本学会では、同一会員による複数回の報告を認めておりません。ただし、分科会企画で報告される予定の方でも、自由企画の共同報告であれば、1回まで応募を認めます。

※※ ここでいう「報告者」とは「研究大会において登壇する者」を指し、報告ペーパーの筆頭著者と報告者が本学会員であれば、ペーパーの共著者に非会員を含む場合でも報告を認めます。

#### 4 使用言語

自由企画・自由論題ともに、ペーパーと発表で使用できるのは、日本語または英語とします。ペーパーのみ英語、発表は日本語でも差し支えありませんが、発表を英語で行う場合にはペーパーも英語としてください。ペーパーを英語で提出される場合、その報告タイトルは英文としてください。発表を英語で行う場合には、プログラムにその旨を記載しますので、応募段階でお知らせください。

#### 5 応募方法

自由企画・自由論題いずれに応募される場合にも、内容のレジュメ（A4用紙1枚程度、ワードファイルもしくはテキストファイルにて作成）を、2024年12月20日（金）までに、下記宛に電子メールの添付書類としてお送りください。

応募先：企画委員長 中井遼 E-Mail：nakairyo■g.ecc.u-tokyo.ac.jp  
（■を@に変更の上、ご送信下さい）

自由企画・自由論題の応募それぞれにつき、企画委員会において採否を決定の上、お知らせいたします。開催校施設等の問題でセッション数に制約があるため、ご希望に添えないことがある旨、あらかじめご了承ください。また応募が採択された際には、報告用のペーパーを所定の期限までに必ず提出していただくよう、お願いいたします。なお、自由企画・自由論題ともに、応募以降に報告タイトルを変更することはできません。自由企画の共同報告の場合には、応募以降、著者の構成・順番の変更もできません。また、採択された場合、筆頭著者が報告を行ってください。

自由企画につきましては、企画委員会から若干の変更などをお願いする場合があります。自由論題につきましては、テーマや採択数を考慮して、企画委員会でセッションの組み方、司会者、討論者などを決めさせていただきます。

なお、皆様の企画のご参考に供するために、企画委員会企画の内容について、10月26日（土）の理事会で決定後、準備が整い次第、学会ウェブサイトに掲載する予定です。

企画委員会委員長 中井遼

## 企画委員会からのお知らせ②

### オンライン大会開催年における院生等研究者向け大会参加費助成制度について

日本比較政治学会年次大会がオンライン開催となることに伴う研究交流機会の低減に対応するため、以下の要領で他学会の対面参加を補助致します。

#### 【概要】

支給額：1人あたり5万円

募集人数：6名程度

募集時期：本ニューズレター掲載時から2025年3月末（結果通知は4月末）

助成の対象：交通費、宿泊費（前後泊分も含む）、懇親会費、学会参加登録費

助成の条件：次の1～3の条件を満たし、4・5に同意いただける方

- 1 研究費を十分持たない院生・ポスドク・非常勤講師等
  - 募集フォームに事情を記入下さい。本制度は他の助成との併用を禁じておりません。
  - 研究員等の肩書があっても給与や研究費が十分出ない場合等も、個別に事情を審査します。
  - 年齢制限は設けておりません。
- 2 応募対象となる学会とその開催時期
  - 原則として、学協会参加団体である学会における年次大会とします。それ以外の団体主催による研究会などの場合には、申請書において、学会の組織や会員数に関して紹介しているURLなどを送るようになしてください。海外で開催される学会への参加の場合も応募可能です。
  - 日本比較政治学会の設立趣旨に沿う、政治学・地域研究の学会への参加を優先します。
  - 応募対象となる学会・研究会の実施時期は、原則として、オンライン大会開催年の5月から翌年6月までとします（1ヶ月程度前後する日程は可）。
- 3 学会の報告者として採択された方
  - 応募の時点では報告者として採択されている必要はありませんが、採択不可となった場合は助成を取り消します。
- 4 助成申請時点で日本比較政治学会の会員または入会申請済みであること
  - 申請済みとは、適正な入会申請書類が事務委託先に本助成応募時点で到着していることを意味します。
- 5 やむを得ぬ事情がある場合を除き、学会全日程に参加すること（エクスカージョン等は含めなくてよい）
  - やむを得ない事情については、事前に申請書で説明するか、理由が生じた時点で企画委員長および事務局にメールで連絡して下さい。
- 6 参加した学会に関する簡潔な報告書を提出すること
  - 報告書のフォームは、採用通知とあわせて企画委員長より送付します。

#### 【募集と選考】

募集方法：

- 応募フォーム（学会HPに掲載予定）に記入の上、文書ファイルをメールに添付して、企画委員長（nakairyo■g.ecc.u-tokyo.ac.jp）および事務局（jacp■net.org）に同報メールで送付して下さい。（■を@に変更の上、ご送信下さい）
- 異動などで事情変更が生じた方は、速やかにお知らせ下さい。

応募締め切り時期：2025年3月末

選考と発表：

企画委員会で厳正な審査の上、応募締め切り後1か月以内に応募者に直接合否を連絡します。

支給方法：

学会に参加したことを証明する写真・証明書等のコピーと簡潔な報告書を、領収書とともに学会事務局に学会参加後2週間以内にメール添付で提出してください。その後、学会事務局より実費を振り込みます。

企画委員会委員長 中井遼

## 事務局からのお知らせ

1. 学会事務局は、大阪公立大学事務局に移転しました。なお、会員情報の変更や入退会のご希望、会費納入、年報・ニュースレター送付に関するお問い合わせは、中西印刷(株)にお問い合わせください。
2. 異動等による登録情報の変更は、学会ホームページのオンライン会員情報システムから行うことができます。大会関係等の重要な案内はメーリングリストや同システムを通じて行われますので、登録情報更新へのご協力をお願いいたします。
3. 会費の支払いは、原則としてクレジットカード払いに移行することになっております。ただし、ご事情によってご自身で郵便局にある振込用紙にご記入頂いて振込いただくことも可能です。詳細は事務委託先の中西印刷(株)にお問い合わせ下さい。連絡先は以下の通りです。

### [事務委託先]

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル  
中西印刷株式会社 学会部 日本比較政治学会事務支局  
TEL | 075-415-3661 FAX | 075-415-3662  
E-mail | jacp■nacos.com (■を@に変更の上、ご送信下さい)

日本比較政治学会ニューズレター 第53号 2024年10月  
日本比較政治学会 Japan Association for Comparative Politics

〒558-8585  
大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3-138  
大阪公立大学大学院法学研究科・稗田健志研究室  
日本比較政治学会事務局  
Email : jacp■jacpnet.org (■を@に変更の上、ご送信下さい)  
ホームページ : <https://www.iacpnet.org/>